

■ 特集 2

白純老師二十七回忌

善光寺開山禰庵白純大和尚二十七回忌
当山二世中興大圓武志大和尚四十九回忌
第二十一回育英会育英生辞令交付式





▲東 隆眞老師
当山二世中興大圓武志大和尚
四十九日忌

去る二月十二日土曜日の午後二時から善光寺開祖榎庵白純大和尚二十七回忌及び昨年末に遷化された当山二世大圓武志大和尚四十九日忌、そして、大圓老師ライフワークの一つでもある海外留学僧派遣育英会の第二十一回育英生辞令交付式が善光寺釈迦殿で行われました。

まずはじめに行われた榎庵白純大和尚二十七回忌では、白純老師が中興し、生涯住職として守られた当寺本寺の大田山光真寺より住



黒田俊雄老師 開山榎庵白純大和尚二十七回忌

職黒田俊雄老師を導師に迎え、寺づくり人づくりの名人と唱われ多くの要職を歴任された老師の偉大なる功績を偲びながらつつがなく執り行われました。

同日に行われた当山二世大圓武志大和尚四十九日忌では、大圓老師の駒沢大学時代の学友でもあり、海外留学僧派遣遺育英会の理事を務められるなど、老師の同胞ともいえる金沢大乘寺住職東隆眞老師に導師を賜り、多くの僧や檀信徒、関係者の集まる中で、志半ばで遷化せられた大圓老師の魂の安寧を祈りました。また、四十九日忌に続いて、博志新任職への辞令宣読がありました。



そして、奇しくも老師が思いを託した最後の育英生の辞令交付式もこの日に行われました。博志新任職の導師で行われたこの式では、育英会理事宮本延雄先生より選定の結果報告がありました。こうした中で行われた辞令交付式は育英生にとってもひとときわ深い感慨が湧いていることでしょう。最後に、大乘寺住職東隆眞老師、光真寺黒田俊雄老師、善光寺総代から中村治雄様、東郷敏様、そして黒田博志新任職からご挨拶がありました。